

【様式1】

学生支援緊急給付金申請書

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の学生支援緊急給付金を申請します。
私が現在、機構の奨学生である場合は、機構が保有する私の口座情報を学生支援緊急給付金の振込先情報として利用することに同意します。

1. 基本情報

		提出年月日	2020年	月	日
所属する学校名					
学籍番号					
氏名	カナ（姓）		カナ（名）		
	漢字（姓）		漢字（名）		
生年月日（和暦）		昭和・平成	年	月	日生
電話番号					
機構の奨学生番号 ※機構の奨学生のみ記入ください。			—	—	

2. 振込先情報

※ 機構の奨学生は記入不要です。ただし、機構の奨学生であっても機構に登録している口座が解約済であるなどの理由により、学生支援緊急給付金の受取りに支障がある場合は記入してください（機構の奨学金の登録口座については、別途、変更の届出が必要です）。

口座名義（カナ氏名） ※通帳記載の口座名義人を記入	
------------------------------	--

（ゆうちょ銀行以外の金融機関）

金融機関名・支店名	銀行 信用金庫 農協	支店 営業所 出張所
金融機関コード	店舗コード	
預金種別 ※いずれかに○	普通預金 ・ 当座預金	
口座番号 ※右詰で記入		

（ゆうちょ銀行）

ゆうちょ銀行	記号	
	番号	

3. 申し送り事項

- ※ 証明書の提出が困難な理由や多子世帯、ひとり親世帯等であることなど、大学等に申し送りすることがあれば記入ください。なお、こちらに質問などを記載しても返信致しません。
- ※ 大学等1年生で予定していたアルバイトがなくなった場合等は、そのような事情を記入ください。

--

4. 添付書類

- ※ 該当書類の「チェック」欄に「○」を記入してください。該当がない場合は、添付する書類名を記載のうえ、「チェック」欄に「○」を記入してください。

チェック	書類名
	預貯金通帳の写し（任意）
	アパート等の賃貸契約書の写し（自宅外生のみ）
	新型コロナウイルス感染症対策に係る公的支援を受けている受給証明書等（提出可能な場合）
	アルバイト先からの給与明細（減額前、減額後）（任意）
	奨学生証又は住民税非課税証明書（提出可能な場合）
	その他（ ）

ご記入いただいた情報は、機構の学生支援緊急給付金のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報が、文部科学省、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複支給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

【様式2】

学生支援緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生支援緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑥(留学生は①～⑤及び⑦)の申請要件について、満たしている項目を確認しました。

要件チェック項目	チェック欄(レ)	金額(年額)
①家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り年額を記載すること		万円
②自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない		
③生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い。 ※1年生はアルバイトでの収入予定額、2年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載すること		万円
④家庭(両親)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない		
⑤コロナ感染症の影響でアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)が大幅に減少(前月比50%以上)している		
⑥既存制度について以下のいずれかを満たす		
1) 高等教育の修学支援新制度(以下「新制度」)の第Ⅰ区分の受給者		
2) 新制度の第Ⅱ又は第Ⅲ区分の受給者であって、第一種奨学金の併給が可能な者にあつては、限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
3) 新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
4) 新制度の対象外であつて、第一種奨学金の限度額まで利用している者又は利用を予定している者		
5) 要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金を利用できないが、民間等を含め申請が可能な支援制度の利用を予定している者		
⑦留学生等(日本語学校の生徒を含む)については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、経済的に困窮していることに加えて、以下の要件を満たすことが必要。 1) 学業成績が優秀な者であること。具体的には、前年度の成績評価係数が、2.30以上であること 2) 1か月の出席率が8割以上であること 3) 仕送りが平均月額90,000円以下であること(入学金・授業料等は含まない。) 4) 在日している扶養者の年収が500万円未満であること		

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があつた場合は返金することに同意します。

令和 年 月 日

学校名 _____ 学部/研究科名 _____

学籍番号 _____

署名: _____

学生支援緊急給付金申請に伴う申告書【留学生用】

学籍番号

氏名

申告事項	申請書添付書類等																								
A. 要件①「家庭からの多額の仕送りを受けていない」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> a 家庭から仕送り(経済的支援)を受けている(年間約 万円) <input type="checkbox"/> b 家庭から仕送り(経済的支援)を受けていない ※仕送り(経済的支援)には授業料を含めること ※1年生は仕送り予定額、2年生以上は2019年度の仕送り額を記載	a 該当者は預金通帳等の写し(口座名義、1年分の該当箇所をマーカー等でわかるように記入すること)及び誓約書(様式2)に金額(年額)を記載																								
B. 要件②「原則として自宅外で生活をしている」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> a.自宅外通学である(下宿している) <input type="checkbox"/> b.自宅で生活しているが家庭からの経済的支援を受けていない	a 該当者は賃貸借契約書の写し、または直近の家賃の支払い根拠書類(住所と本人の住居が確認できるもの)、住民票の写し等 b 該当者は様式1申請書の申し送り事項にその旨記入すること																								
C. 要件③「生活費・学費に占めるアルバイト収入の割合が高い」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> アルバイト収入を生活費・学費に充てている 年間の収支内訳 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">収入(年額)</th> <th colspan="2">生活費・学費の支出(年額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルバイト収入</td> <td>万円</td> <td>生活費</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>奨学金等支援</td> <td>万円</td> <td>大学授業料</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>家庭からの支援</td> <td>万円</td> <td>教材費等其他学費</td> <td>万円</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>万円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>万円</td> <td>合計</td> <td>万円</td> </tr> </tbody> </table> ※1年生はアルバイト収入予定額、2年生以上は2019年度のアルバイト収入額を記載。	収入(年額)		生活費・学費の支出(年額)		アルバイト収入	万円	生活費	万円	奨学金等支援	万円	大学授業料	万円	家庭からの支援	万円	教材費等其他学費	万円	その他収入	万円			合計	万円	合計	万円	誓約書(様式2)に金額(年額)を記載
収入(年額)		生活費・学費の支出(年額)																							
アルバイト収入	万円	生活費	万円																						
奨学金等支援	万円	大学授業料	万円																						
家庭からの支援	万円	教材費等其他学費	万円																						
その他収入	万円																								
合計	万円	合計	万円																						
D. 要件④「家庭(両親のいずれか)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> a 家庭からの追加的支援は期待できない <input type="checkbox"/> b 家庭(両親)の収入減少があった(主な要因) <input type="checkbox"/> c 家庭(両親)の収入について、新型コロナウイルス感染拡大の影響で公的支援を受けている(もしくは申請中)である(受給・申請予定の制度名)	c 該当者はコロナ感染症対策に係る公的支援措置の受給証明書等(提出可能な場合)又は様式1申請書の申し送り事項に事情を記入																								
E. 要件⑤「コロナ感染症の影響でアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む)が大幅に減少(前月比の50%以上減少)している」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> a.アルバイト収入が大幅に減少した(本年1月以降) (減少前: 月分 万円)(減少後: 月分 万円) <input type="checkbox"/> b.4月に入学しアルバイト予定だったが得られるはずの収入が得られなかった	aはアルバイト先からの給与明細または振込口座の預貯金通帳の写し(任意)等(本年1月以降の2か月分で減少がわかるもの 口座名義、該当箇所をマーカー等でわかるように記入すること) b 該当者は様式1申請書の申し送り事項にその旨記入すること																								
F. 要件⑦「留学生等については経済的に困窮していることに加えて以下の要件を満たすことが必要」に関する質問																									
<input type="checkbox"/> 【2年生以上】成績係数が2.30以上 $\text{成績係数} = \frac{S}{\text{総登録単位数}(D \text{ と未受験を含む})} = \frac{A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数}}{\text{総登録単位数}(D \text{ と未受験を含む})}$ 【新入生】入学試験換算係数 <input type="checkbox"/> 【2年生以上】入学後の在籍確認出席率8割以上 【新入生】入学前の所属機関出席率8割以上 <input type="checkbox"/> 仕送りが平均月額90,000円以下(入学料、授業料は含まない) <input type="checkbox"/> 在日している扶養者がいる、かつ扶養者の年収が500万円未満	仕送額や扶養者の年収が確認できる振込口座の預貯金通帳の写し等																								